

当院における乳房一次再建術と乳頭乳輪再建術のデータ

三和病院 乳腺外科 渡辺 修、高松友里、齋藤かりん、北野 綾、長谷川圭

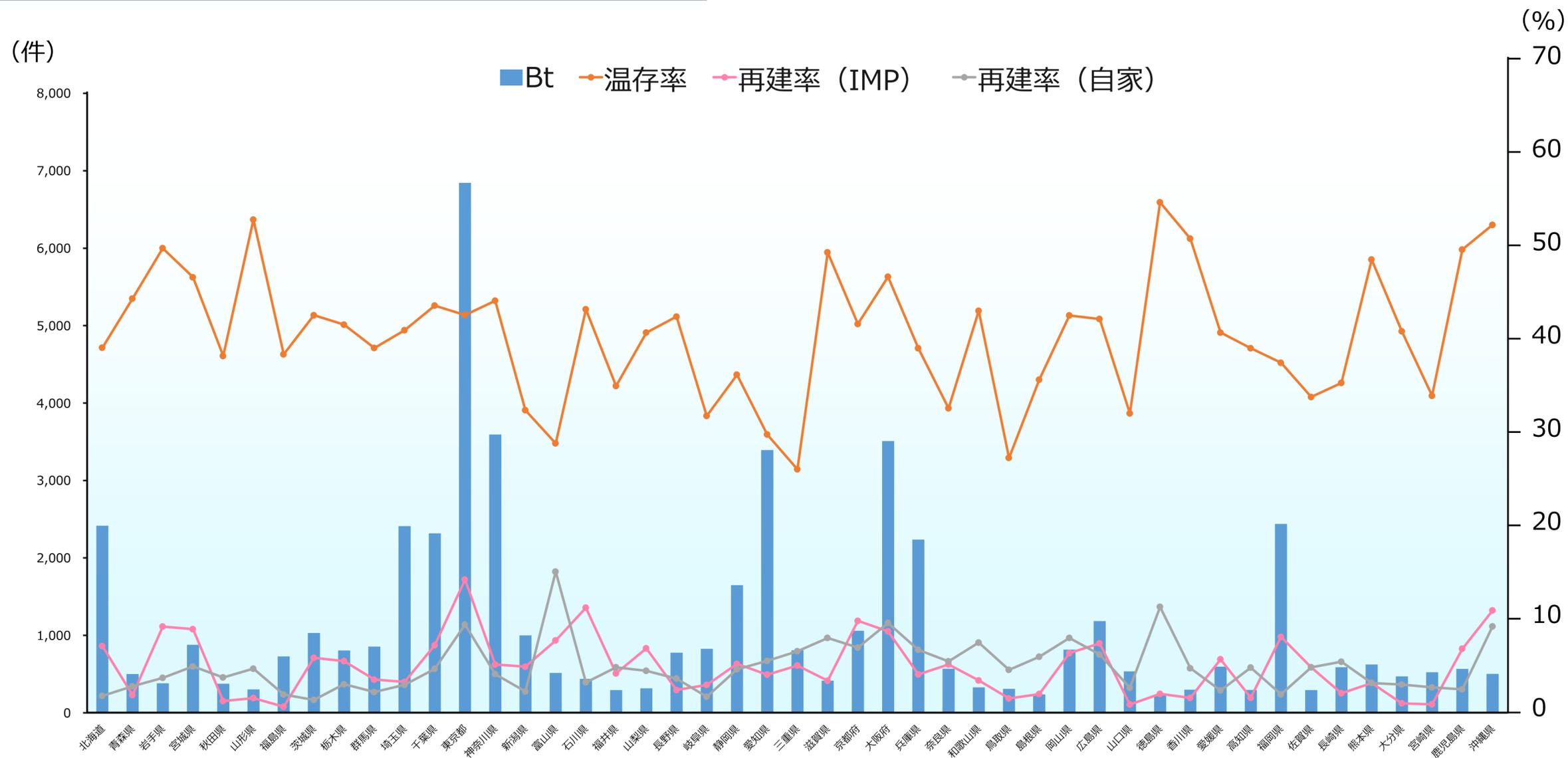
三和病院 形成外科 植村法子、上野麻由

コメント

当院は乳がん手術によって失われる乳房の再建、乳頭乳輪の再建に積極的に取り組んでいます。
そのデータは2023年日本乳癌学会学術総会にて発表しました。

都道府県別再建率 NDBオープンデータ

診療年月：2020年04月～2021年03月 ※「-」で示される9症例以下は、5を入力



全国Bt件数	52,064
--------	--------

全国平均	
温存率	42.6%
再建率 (IMP)	5.2%
再建率 (自家)	5.2%

合計再建率 10.4%

コメント

乳房再建の率は全国平均で10%程度です。これは、乳房全摘した方に占める割合です。お隣韓国では50%を超えるとの報告もあり、日本の再建率の低さが目立ちます。地域間格差もかなり見受けられます。

日本乳癌学会将来検討委員会 乳房再建に関するWG

座長 山本 豊、森 弘樹

委員 矢島和宜、白石知大、奥村誠子、佐武利彦、雑賀美帆、矢永博子、高田正泰、栗田智子、棚倉健太、佐貫直子、大坪竜太、桜井なおみ、渡邊知映、阿部典恵、寺田かおり、**渡辺修**

目的 標準治療の多様化、高度化に伴い、患者さんの受けられる診療レベルが地域間、施設間で年々大きくなっている。そこで地域間および地域内での標準治療実施割合の異なる標準治療について、多くの乳癌患者さんに標準治療を受ける機会を失わないために、乳癌学会で取り組むことになった。国際的にも実施率が低くかつ地域間および地域内格差の大きい乳房再建について本WGを立上げることになった。本WGでは乳房再建術の普及と地域間および地域内の格差を小さくするための方策を立案し、提案、実行する。

コメント

日本乳癌学会では今年このようなワーキンググループを立ち上げ、現在活動中です。

当院における乳房再建率

2014年8月(当院開院)～2022年11月30日

乳房一次再建術 495例

再建を伴わない乳房切除術(乳房全摘) 534例

再建率 48.1% (495/495+534)

コメント

当院では、乳房全摘する方の約半数の患者さんが乳房再建を行っています。全国平均約10%と比べるとかなり高率となっています。

乳頭乳輪再建率

乳頭再建 119 例

乳輪形成(刺青) 97 例

乳頭再建率 $119/410=29.0\%$

乳頭乳輪再建率 $97/410=23.7\%$

コメント

乳頭再建した患者さんは30%程度と意外と少ない結果でした。乳輪形成は20%強とさらに少ない結果でした。

全国での状況との比較

	全国	当院
乳房再建率	10.4%	48.1%
乳頭再建率	29.4%	29.0%

ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)施行例	25,000	例*
再建乳房乳頭再建術施行例	7,350	例

* 2020年4月～2021年3月 厚生労働省 第7回NDBオープンデータより
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000177221_00010.html

コメント

全国で乳頭再建した患者さんの割合を示したデータはありませんが、計算上(概算)は30%弱程度と推定され、当院とかわらなそうです。

まとめ

乳房再建術を行っても乳頭乳輪再建を希望する患者さんはその3割程度で非常に少ない結果でした。

多くの患者さんは、乳房を再建するだけでほぼ満足しているものと推測されます。